

成人看護学概論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 三浦 幸枝 教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

成人期にある者およびその者の家族等を対象とした急性期から慢性期を通した看護について理解する。具体的には、臨床現場での意思決定および意思決定支援、健康と病気の経験および家族やグループの多様な倫理・文化・地理的背景とは何かについて、学びを深める。

・教育成果（アウトカム）

成人期にある患者およびその家族を対象とした急性期看護から慢性期看護に至るまでの過程について説明できるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 成人期の特徴と健康問題について、多面的に考えることができる。
2. 治療過程を知り、症状マネジメントの重要性を理解できる。
3. 患者体験を知り、支援に向けたコミュニケーションスキルを修得する。

・ 授業日程

(矢) 西 1-B 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/5	火	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>成長発達段階から見た成人の特徴 成人の健康の動向と保健・医療福祉政策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 成人期にある人の、心体的、心理的、社会的特徴と発達課題を述べるができる ・ 成人をとりまく社会環境と生活について説明できる ・ 成人の健康および健康上の課題について述べるができる ・ 成人各期に特徴的な健康問題を説明できる <p>事前学修：エリクソン・ハビガースト、レビンソンの発達課題と ・ 成人各期の身体的特徴、心理・社会的特徴と発達課題をまとめる</p> <p>事後学修：成人を対象とした保健・医療・福祉政策について復習する</p>
4/5	火	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>健康障害をもつ成人にかかわる基本的な視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康生活を支える人間関係を構築する技術・理論が理解できる ・ 患者の権利と権利擁護の意義と方法を説明できる ・ 健康の保持・増進のための支援内容が説明できる <p>事前学修：自己効力感、アンドラゴジーについてまとめる。 ・ 成人教育の特徴について自己の考えをまとめる</p>

4/6	水	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>急性期：健康の危機的状況にある患者への看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期にある成人の健康問題の特徴と看護が説明できる ・健康の危機的状況への適応について説明できる ・周術期看護について説明できる <p>事前学修：ストレスとコーピング，危機理論についてまとめる</p>
4/6	水	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>リハビリテーションを必要とする成人への看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーションを必要とする成人の健康問題の特徴と看護を説明できる ・回復期看護について説明できる <p>事前学修：成人期の人が障がいをもつことの影響とリハビリテーションにおいて看護師の役割についてまとめる</p>
4/7	木	4	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>慢性期：慢性期にある成人の健康生活の継続への看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慢性期にある成人への健康問題の特徴と看護が説明できる ・健康行動への行動変容に対する支援が説明できる ・健康生活継続への支援が説明できる <p>事前学修：病みの軌跡、不確かさ理論についてまとめる</p>
4/7	木	5	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>セルフマネジメント理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象のセルフマネジメントを促進・支援するコミュニケーションについて説明できる ・健康生活継続への支援が説明できる <p>事前学修：自己効力感、アンドラゴジーについてまとめる</p>

4/8	金	2	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>コミュニケーション理論</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象のセルフマネジメントを促進・支援するコミュニケーションについて説明できる。 ・傾聴・共感のロールプレイを通して対象理解ができる。
4/11	月	1	共通基盤看護学講座	三浦 幸枝 教授	<p>地域・在宅への継続看護 終末期：人生の最期を迎える人と家族に寄り添う看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院時から退院後の患者の生活を見据えた看護の視点を説明できる ・成人期にある人の退院支援の課題を説明できる ・退院支援における他職種連携の在り方を理解できる ・終末期にある成人の看護を説明できる <p>事前学修：慢性期、終末期の退院支援の課題についてまとめる</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	成人看護学概論/成人保健 第6版	黒江ゆり子編著	メジカルフレンド社	2018
教	成人看護学 慢性期看護論 第3版	鈴木志津枝他編著	ヌーヴェルヒロカワ	2014
教	ナーシング・グラフィカ 成人看護学⑥ 緩和ケア第3版	編者 宮下 光令	メディカ出版	2022
教	ナーシング・グラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント 第4版	安酸史子、鈴木純恵他	メディカ出版	2022

・ 成績評価方法

定期試験 80%、事前学修 10%、課題レポート 10%により評価する。

・ 特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

各授業の到達目標を確認し、毎回の授業に対して最低 30 分以上の予習、復習を行い、知識の定着と理解の促進を図ること。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

各回講義の中で、教員とのディスカッションの機会を設ける。

レポート等課題は、WebClass で課題、書式、提出期限等を確認して、WebClass へ提出のこと提出されたレポートは、評価後適宜コメントを付し、返却する。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 成人看護学

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
講義	デスクトップパソコン（HP ENVY Desktop TE01-1104jp パフォーマンスモデル）	1	講義資料の作成等